

AI（人工知能）による内視鏡画像自動診断 （病変拾いあげ）システムの実証実験

この研究は、通常の診療で得られた過去の記録を使って行われます。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまの一人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表しません。

1. 研究の対象

当院で内視鏡検査を受けられた方

2. 研究目的・方法

胃がん検診が従来のバリウム検査から胃内視鏡検診へ移行するのに伴い、さいたま市では、現在胃がん検診の8割が内視鏡で施行されております。胃がん検診においては精度管理のため、専門医による内視鏡画像のダブルチェックが義務付けられており、数万件の内視鏡検診に伴い、2次読影において専門医が読影する画像枚数は1回1人当たり1時間で約2800枚（1人あたり約40枚で70人分）と膨大なものとなっております。そこで2015年に画像認識能力が人間を上回ったAI（人工知能）を医師のアシストとして使用すれば、2次読影作業の精度とスピードを向上させる事が技術的には可能であると考えられます。何十万枚もの画像の二次読影で疲弊している内視鏡検診に関わる専門医の負担軽減が可能な検証を行うことを目的といたします。

患者さまの診療録から観察項目として、診断、治療内容、内視鏡検査画像ファイリングシステムに保存された内視鏡画像を設定します。収集した画像を匿名化処理を施した上で、サーバー内に収集し、診断ごとのグループ分けを行います。システム開発会社および共同研究開発先の産業技術総合研究所は診断名ごとに分類された画像を人工知能に学習させ人工知能の教育を行います。

研究実施期間：施設院長承認後～ 西暦2020年3月31日

3. 情報の利用拒否

情報が当該研究に用いられることについて患者さまもしくは患者さまの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、「7. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。

4. 研究に用いる情報の種類

診療録（診断名、治療内容、内視鏡検査画像ファイリングシステムに保存された内視鏡画像）

5. 外部への情報の提供

データはシステム共同研究開発先（国立研究開発法人 産業技術総合研究所）へ提供する。データの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当院の個人情報管理者が保管・管理します。

6. 研究組織

【研究代表機関】

多田 智裕 医療法人ただともひろ胃腸科肛門科

【共同研究機関】

氏名	所属組織
平澤 俊明	がん研有明病院 内視鏡診療部
松尾 恵五	東葛辻仲病院 大腸肛門科
大西 達也	ららぽーと横浜クリニック 胃腸科
七條 智聖	大阪国際がんセンター 消化管内科
野中 康一	埼玉医科大学国際医療センター 消化器内科（消化器内視鏡科）
熊谷 洋一	埼玉医科大学総合医療センター 消化管・一般外科
川田 研郎	東京医科歯科大学 消化管外科学分野 食道外科
阿保 義久	医療法人社団 DAP 理事長
石原 聡一郎	山王病院 消化器外科
柄川 悟志	大阪警察病院 内科、消化器内視鏡センター
齋藤 宏章	仙台厚生病院 消化器センター消化器内科
鈴木 英雄	筑波大学附属病院 光学医療診療部
園田 英人	伊万里有田共立病院 外科
田中 潤一郎	キッコーマン総合病院 外科
寺田 俊明	医療法人社団俊和会 寺田病院 外科、内科
豊島 治	とよしま内視鏡クリニック 消化器科
中里 雄一	仙台循環器病センター 外科・消化器外科
山田 篤生	東京大学医学部附属病院 消化器内科

システム委託業務発注先：株式会社 AI メディカルサービス

システム共同研究開発先：国立研究開発法人 産業技術総合研究所

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら以下の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住 所：〒251-0041 神奈川県藤沢市辻堂神台1-5-1

電話番号：0466-35-1177（代表）

臨床試験センター

当院の研究責任者：

内視鏡内科・部長 永田 充

研究代表者：

医療法人ただともひろ胃腸科肛門科 多田 智裕

(2018 年 10 月 16日作成)